

草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル国
2. 案件名	モンゴル国ドルノゴビ県下水資源活用能力向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	モンゴル国ドルノゴビ県は、水の供給率は地方において 7～35%、中心地域であるサインシャンド郡でも供給率 78%となっており、人々が十分に水を使えない状況である。水の再利用が課題である一方、2022 年から稼働している下水処理場により、汚水は適切に浄化されているものの、処理水はほとんど再利用されずに砂漠へ放流されている。また、下水処理過程で生じる下水污泥が屋外に放置され強烈な臭気を発生させており、住環境や労働環境の悪化の原因となっている。更には、近年、突発的な豪雨が頻発し、適切な雨水排除施設がないことから、内水氾濫により幹線道路が損傷するなど、市民生活に多大な影響が発生している。 本事業は、これらのドルノゴビ県が抱える水資源、汚水処理、豪雨対策に関する喫緊の課題に対し、以下の 3 つにより解決を目指す。第一に、未利用の処理水を再利用するための計画策定を支援し、水資源の効率的利用を促進する。これによって、水不足の課題解決に直接貢献する。第二に、下水污泥からの悪臭問題に対し、原因分析や対策方法の指導を通じ、労働環境および周辺住民の生活環境を改善する。第三に、豪雨による浸水被害に対し、対策の必要性や計画手法（雨水貯留など）を指導し、都市インフラの保全と市民生活の安定に寄与する。
4. プロジェクト目標	ドルノゴビ県の汚水処理地区における下水道事業の継続的な発展を実現させるため、再生水資源の活用や臭気対策・内水浸水対策の実施に必要なノウハウを習得した人材を育成する。
5. 対象地域	モンゴル国ドルノゴビ県
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	(1) 直接受益者：ドルノゴビ県の下水道関係技術者（国機関、ドルノゴビ県庁、チャンダマン・イルチ公社の技術者）約 50 人 (2) 間接受益者：ドルノゴビ県サインシャンド郡の住民、ドルノゴビ県の隣接県を中心とした 5 県の住民
7. 生み出すべきアウト プット及び活動	<成果> 成果 1：ドルノゴビ県技術者が再生水資源を適切な規模・用途で活用するための計画策定方法が身につく。 成果 2：ドルノゴビ県技術者が再生水資源の活用に関する技術を習得する。 成果 3：ドルノゴビ県技術者が地域企業と住民（特に児童・生徒）に対し再生水資源の効率的な活用について、定期的に啓発活動を実践できる。 成果 4：ドルノゴビ県技術者が適切な再生水資源の活用や臭気対策・内水浸水対策に関する課題を、モンゴル国内の他県下水道関係技術者と共有、議論し、問題解決に取り組む。

	<活動> 活動 1-1: ドルノゴビ県技術者に対して再生水資源の計画策定方法の研修を開催する。 (現地・国内) 活動 1-2: ドルノゴビ県の技術者に対して日本での再生水資源の活用事例を用いた視察及び実習を行う。(現地・国内) 活動 2-1: ドルノゴビ県技術者に対して静岡県内を中心とした企業等と共同して再生水資源の利活用手法や製品の情報提供をする。(現地・国内) 活動 2-2: ドルノゴビ県技術者と静岡県内を中心とした企業等との間で製品や技術について意見交換する場(情報交換セミナー)を設置し、日本の浄化装置の機能性や技術の習得についてアンケートを実施する。(現地・国内) 活動 2-3: ドルノゴビ県技術者に対して再生水資源活用に関する複数の技術を研修し、現地のニーズにあった処理方法の習得を支援し、再生水資源の活用に関する理解度テストを実施する。(現地) 活動 3-1: ドルノゴビ県技術者に対して再生水資源の活用に関する安全性や有効性などの知識の習得を支援する。(現地・国内) 活動 3-2: ドルノゴビ県技術者に対して住民への啓発活動手法及び啓発活動計画策定の研修を行う。(現地・国内) 活動 3-3: ドルノゴビ県技術者が地域住民に対して行った啓発活動のモニタリングを実施する。(現地) 活動 4-1: ドルノゴビ県とモンゴル国内の他県の技術者が情報共有・議論できる組織体制作りを支援する。(現地) 活動 4-2: ドルノゴビ県とモンゴル国内の他県の技術者に対して臭気対策や内水浸水対策に関する複数の技術を研修し、現地のニーズにあった脱臭技術・内水浸水対策手法の習得を支援する。(現地)
8. 実施期間	(西暦) 2026 年 10 月～ 2029 年 1 月 (2 年 3 カ月)
9. 事業費概算額	5,429 千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	モンゴル国ドルノゴビ県 都市計画・建設・住宅整備省(モンゴル国、関係中央省庁)
II. 団体の概要	
1. 実施団体/指定団体	静岡県
2. 主な活動内容	静岡県は「地域外交基本方針」に基づき、友好的互惠・互助の精神で海外諸国との交流を推進しており、モンゴル国は「重点国・地域」の一つに位置付けられている。「幅広い分野での人材交流の推進と活力取込の促進」を目標とし静岡県は、これまでも JICA 草の根技術協力事業を活用し、2 期に渡り同国ドルノゴビ県への下水道技術支援を実施してきた。